

1 語彙と文法

解答

- 問 1 (1) ウ (2) イ
 問 2 動く
 問 3 (1) I know him. (2) We go to school.
 問 4 (1) eats (2) studies
 問 5 (1) went (2) took (3) studied
 問 6 (1) didn't (2) live

解説

- 問 1 (1) 選択肢の意味は次のとおり。ア「私はお茶を飲みます。」、イ「私は自分の部屋を掃除します。」、ウ「私は本を読みます。」、エ「私は自分のイヌと走ります。」
 (2) 選択肢の意味は次のとおり。ア「私はテレビを見ます。」、イ「私は公園を歩きます。」、ウ「私はEメールを書きます。」、エ「私は野球をします。」
 問 2 前に doesn't があることから、この work は動詞として使われていることがわかる。また、主語は My smartphone なので、「(機械・設備などが)機能する、動く」という意味である。

ポイント

単語の意味はまわりから判断しよう

- ・複数の品詞がある語は、前後の語句から品詞を判断しよう。
- ・文章全体が表す内容から、単語の意味を考えよう。
- ・辞書にのっている用例や例文を読み、適切な意味を選ぼう。

- 問 3 (1) <主語+動詞+目的語>の語順。
 (2) go(行く)は目的語をとらない動詞。to school は動詞を修飾する副詞句。
 問 4 (1) 主語が 3 人称単数で、現在を表す文なので、s をつけた形にする。
 (2) 主語は 3 人称単数で、現在を表す文。<子音字+y>で終わる動詞は y を i に変えて es をつける。

おさえよう

動詞の s, es のつけ方

ふつうの動詞	s をつける	like → likes play → plays
s, x, sh, ch, o で終わる動詞	es をつける	wash → washes go → goes
<子音字+y>で終わる動詞	y を i に変えて es をつける	study → studies
不規則に変化		have → has

- 問 5 (1) 「行きました」とあるので、過去の文。go の過去形 went を入れる。
 (2) 「写真を撮る」は take a picture。take の過去形は took。
 (3) 過去の文なので動詞を過去形にする。<子音字+y>で終わる動詞は y を i に変えて ed をつける。
 問 6 (1) 過去の否定文なので、didn't を使う。
 (2) 疑問詞を使った疑問文。疑問詞のあとにふつうの疑問文の語順<does + 主語 + 動詞の原形>を続ける。

4 会話文と文法

解答

問1 イ

問2(1) to make (2) to

問3(1) To be kind to other people is important.

(2) got up at five to take

(3) give me something hot to eat

問4(1) エ (2) ウ

問5(1) I enjoyed playing tennis

(2) job is teaching math

問6(1) eating (2) reading

(3) to return

解説

問1 A: すみません。映画館への道を教えていただけますか。

B:

A: わかりました。ありがとうございます。

選択肢の意味は次のとおり。ア「この道に沿って行って2番目の角で右に曲がってください。すぐに左手にそれが見えます。」、イ「郵便局までこの道に沿って行ってください。そしてその角を左に曲がってください。右手にそれがあります。」、ウ「この道に沿って行って橋を渡ってください。それは右手に、通りをはさんで病院の向かいにあります。」、エ「突き当たり

までこの道に沿って行ってください。通りの真向かいにそれがあります。』

ポイント

文中の重要語句

along ~ 「~に沿って」

on the right(left) 「右手[左手]に」

across ~ 「~の向こう側に」

問2(1) 「クッキーをつくること」は to make cookies (to 不定詞) か making cookies (動名詞) と表す。空欄の数から to 不定詞を用いる。to 不定詞は文の補語にもなる。主語「私の趣味」=補語「クッキーをつくること」。

(2) 感情(sad)の原因・理由を to 不定詞(副詞用法)を使って表す。

問3(1) 名詞用法の to 不定詞が主語の文。

(2) 目的を表す副詞用法の to 不定詞。「5時に起きた」+「始発の列車に乗るために」という語順にする。

(3) something to eat で「何か食べる物」。to eat が後ろから something を修飾している。<-thing> という語に形容詞をつけるときは <-thing + 形容詞> の語順になる。「何か温かい食べる物」は something hot to eat と表す。

おさえよう

<-thing + 形容詞 + to 不定詞> の形

something や anything のような <-thing> で終わる語に形容詞をつけるときは <-thing + 形容詞> の語順になる。to 不定詞はそのあとに置く。

Do you want **anything cold to drink**?

(あなたは何か冷たい飲み物が欲しいですか。)

I have **nothing special to do** today.

(私は今日、特にすることがありません。)

問4(1) is があるので、is の前が主語になるとわかる。Making cakes で「ケーキをつくること」。「ケーキをつくることは姉[妹]にとって易しい。」という意味。

(2) 動詞 (finished) のあとなので、動詞の原形や過去形はこない。finish は目的語に動名詞をとる動詞。「私は自分の部屋を掃除し終わりました。」という意味。

問5(1) 「～して楽しみました」は enjoyed ～ing で表す。動名詞が動詞 enjoyed の目的語になっている。

(2) 「数学を教えること」は teaching math。動名詞が補語の文。

問6(1) finish は目的語に動名詞をとる。finish ～ing で「～し終わる」。

(2) stop は目的語に動名詞をとる。stop ～ing で「～するのをやめる」。stop to ～は「～するために立ち止まる」という意味になり、その場合の to ～は目的を表す副詞用法の to 不定詞。

(3) want to ～で「～したい」。